

総合安全保障研究科前期課程第19期学生 選抜筆記試験問題

国際関係論

次の2問に答えよ。

問1 冷戦後に世界各地で起こった内戦が、大量破壊兵器の軍備管理にもたらしたチャレンジについて述べよ。

問2 日本の領土問題に対する米国の同盟国としての基本的対応を整理せよ。

国際政治史

次の2問に答えよ。

問1 第1次世界大戦の発生原因を長期的・中期的・短期的に概観した上で、大戦が1920年代以降の国際政治の規範にいかなる変化を与えたかを分析せよ。

問2 冷戦終結時にも、米ソ間には欧州の「戦後」構想があったと考えられる。それがどのようなもので、またそれに対して、現実の政治はどのように展開したか、なぜ戦後構想は生かされなかったのか、適宜時期区分をして論じよ。

公共経済学

次の2問に答えよ。

問1 国際テロリズムに対抗するための国家間協力について、公共経済学の観点から論じなさい。

問2 市場メカニズムを活用した資源配分の方法について、その長所と短所を述べなさい。

憲 法

次の2問に答えよ。

問1 日本国憲法の下で国家自衛のための実力組織を保有することが合憲であるとする根拠を憲法制定過程から導き出す学説がある。この説が論拠とする事実およびそこに示された憲法制定に関与した者の意思について言及しつつ、この説の是非を論じなさい。

問2 立憲主義の意義を説明したうえで、立憲主義憲法の下での国の防衛法制の在り方について論じなさい。その際に、以下の2点について必ず触れること。①権力分立制の下での軍事権力の位置、②軍隊内での基本権の保護と制限。

国 際 法

次の2問に答えよ。

問1 裁判管轄権に関する普遍主義の下で行われる、国際犯罪の取り締まりについて論じなさい。

問2 国際的武力紛争において適用される国際人道法の原則について論じなさい。

組織管理論

次の2問に答えよ。

問1 自衛隊のような成果目標が設定しにくい組織においては、どのようなインセンティブや仕組みで組織成員を動機づけていくことが有効であると考えられるか。モチベーションに関する理論や概念を一つ以上取りあげ、それらに依拠しながら論述しなさい。

問2 創造性を重視するマネジメントと、効率性を重視するマネジメントとの違いについて、組織環境、組織戦略、組織構造、組織資源の観点から説明しなさい。解答に当たっては、できるだけ多くの理論・学説を取りあげ、平易な文章でわかりやすく説明すること。

行 政 学

次の2問に答えよ。

問1 内閣人事局の設置は、政治家と官僚との関係にどのような影響を与えると考えられるか。日本の国家公務員人事制度の概要を説明した上で、論点を3つ以上挙げて論じなさい。

問2 各国の中央・地方関係は、大きくヨーロッパ大陸型と英米型に分類することができる。例となる国を挙げて、それぞれの型について説明し、また近年の変化についても論じなさい。